

安芸市内で農業をされている中村さんご夫妻。ご主人の守貴さんはハウスでの冬春ナス、奥さんの春菜さんはハーブ、そしてその他露地野菜として、希少な野菜なども育てています。地域社会や職場などでの固定的な性別役割分担意識を解消していくために、「共働き・子育て」が推進される中、二人三脚で仕事と育児を両立されているお二人のお話を伺いました。

農家への転身

結婚後しばらくして、会社員から農家へ転向された守貴さん。きっかけは会社員の傍ら始めた家庭菜園で楽しさや収穫の喜びを感じ、栽培への意欲が高まったことだそうです。

春菜さんは、最初は収入が安定しないイメージがある農家に不安があったものの、以前から食に関心があり、「自分たちで作ったものは、何を使っているのか分かるので、安心して子どもに食べさせることができる。食生活がガラリと変わったことで、自身の身体の不調なども改善された。」と話されていました。

農業と子育て

息子さんと一緒に畑に行き、土いじりや収穫を手伝ってくれる姿を見ると、幼少期の守貴さんも、祖母の畑仕事の手伝いが大好きだったことを思い出されるそうです。

春菜さんは、「農家への転向が決まった時には、毎日が大変そうだと思っていたけれど、実際に農業を始めてみると、作物が育つ喜びもあるし、子どもの行事や病院受診などにもすぐに対応できて嬉しい。」と、農業のイメージが覆されたそうです。

平日でも気軽に出かけたり、時間の融通が利きやすく、市内に住んでいるそれぞれのご両親が保育所へのお迎えなども快く引き受けてくれるので、家族で協力しながら子育てや農業をされています。



子どものために

春菜さんは、「スーパーなどにある、整えられた野菜ではなく、根っこから葉の部分まで知ることとはとても大事だと思います。」と話します。

3歳になる息子さんは、一緒に畑で土いじりや作物のお世話をしている中で野菜やハーブの名前を覚え、葉を見ただけで名前を答えられるようになったそうです。

食への想い

春菜さんは会社員だった頃よりも、今のほうが生活の中で自由度があり、いろいろな事への挑戦や発信に繋がっているとの事で、「私達夫婦の健康が食生活で大きく変わったので、周りの人たちにも自分で摂る食べ物の大切さをもっと知ってもらいたい!」と話されていました。

販売イベントや保育園児を招いての収穫体験では、『食材』としてだけでなく、どういう風に『野菜』が育っているのかを知ってもらうことで、参加者の価値観を変えたい、食への興味を持ってもらいたいと、意欲的に活動されています。

結婚専門相談員がお手伝いしています

「結婚したいけど、相手に巡り合う機会がない…」という方に、結婚専門相談員がお相手の紹介やお見合いのお手伝いをしています。

相談者のご希望に沿ったサポートをしており、相談内容の秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

安芸市農業後継者対策協議会事務局
☎ 0887-35-1016 (安芸市農林課内)



R7.2.16(日) VILLA URARA

農業男性との恋活イベントを実施します。

※詳しくは、広報1月号折り込みチラシをご覧ください。

